



当院には、この権威ある学会の理事及び指導医を勤めた者が顧問として在籍しており、もちろん学会員も在籍しております。また、定期的に国内外を問わず学会発表も定期的に行い、更にインプラントのセミナーを開催、指導するなどしてインプラント医の育成・教育に努めております。代表的な学会の認定医として認められるには、受講者自らが行った多くの症例実績をはじめ、厳しい審査基準をクリアする必要があります。さらに、最低10年のインプラント診療への従事と、インプラント埋入施術合計100例以上の執刀指導をして初めて、専門医を指導出来る上位資格である「指導医」となれるのです。

デンタルチームジャパンのインプラント医は、こういった学会の指導医の認定資格を持つ医師が在籍しており、多くの難症例を解決し続けています。その実績に加え、インプラントを半永久的に持続させるためのボーンコントロールという特殊な医術を施します。まさにその医術こそが誰も身につけられるものではなく巧みの医術であり、当院のインプラント術が患者の皆様から信頼されている所以なのです。その結果、他院で「不可能」と断られた患者様の施術が「可能」となり、現在まで当院のインプラント施術を受けた患者の皆様がしっかりとした噛み合わせを維持し、将来的に安定した噛み合わせの継続が見込めるのです。

インプラントは、どの歯科医の施術でも同じではない、ということがお分かり頂けるか思います。





## インプラント医育成名誉指導医

あさなみ そういちろう

朝波 惣一郎

- 【経歴】 現)国際医療福祉大学 客員教授  
前)国際医療福祉大学三田病院 歯科口腔外科 教授  
元)慶応義塾大学医学部歯科口腔外科 准教授
- 【所属】 日本顎顔面インプラント学会 理事・指導医  
日本口腔外科学会 監事・口腔外科指導医・専門医  
日本有病者歯科医療学会 理事・指導医

## 常任理事・院長

## インプラント医育成指導医・講師

金山 健夫

- 【経歴】 1997年3月 北海道大学歯学部 卒業  
2001年3月 北海道大学大学院 修了  
現)国立がん研究センター中央病院 非常勤医師  
名古屋市立大学病院 非常勤歯科医師  
前)名古屋市立大学大学院医学研究科 口腔外科学分野 助教  
元)名古屋大学大学院医学研究科 再生医療専修科 医員  
北海道大学歯学部 歯科補綴学講座 助手
- 【所属】 日本補綴歯科学会 専門医・指導医  
日本顎顔面インプラント学会 運営審議委員  
日本口腔外科学会  
日本口腔科学会・JMMインプラント臨床マイスター  
OSSTEMインプラント Director







## 歯科治療をチームで行う重要性

口腔内のトラブルや噛み合わせが悪い場合、その影響は身体全体に連鎖します。日常生活の中で、初期段階の虫歯や歯の欠損などはつい簡単に考えがちです。しかし噛むということは、身体が一番目の臓器としての重要な役割をもっています。当然正しく噛めないということは、内臓に影響を与えるということです。

また、歯や顎は神経系にも大きく影響し、身体と脳をつないでいる大切な場所と言え、平衡感覚にも現れます。そして歯は、心と同様デリケートな部分でもあり、噛み合わせの不具合は女性には大切なホルモンバランスに関係し、心のバランスから身体のバランスへと連鎖していきます。しかし、口腔内の問題や症状は、患者の皆様それぞれ異なります。現実問題、一人の医師が全てを判断するには限度があり、それが実情です。そこで患者の皆様の回復を最優先に考えるには、各分野の医師たちがチームで取り組む必要が不可欠であり、チーム医療が患者の皆様喜んでいただける理想的な歯科治療ということに行き着きました。チームジャパンはより上級の治療(真のチーム医療)を目指し実現致しました。現在、患者の皆様や地域の方々からの厚い信頼と支持を根強く得ています。

デンタルチームジャパンは

インプラントエキスパート医・口腔外科医(福岡で唯一高度な歯科再生治療を実施)・審美歯科医・歯科矯正医(技術力と精巧な方法で長期間の煩わしさを三分の一に短縮)・小児矯正医など、完璧なチームワークで患者の皆様の思いを十分に受け止める西日本初の歯科医療の最強チームです。

## なぜ？他院で断られた「不可能」が可能になるのか

日本では、歯科医であれば誰でもセミナーなどを受講する程度で翌日からインプラント施術をすることが出来るのです。

インプラント施術経験の有無に関わらずインプラント施術が出来ます。しかしその結果が、現在国内の数あるインプラントトラブルに繋がっているのです。

しかし、インプラントこそ正しい施術と究極のボーンコントロールを施せば、失った噛み合わせと歯を保護するための素晴らしい20世紀の遺産といえます。

米国の場合、歯科医の資格とは別に試験制度で6~7年の経験を経てやっとインプラント医としての資格を手に入れます。その内容は、心理学から薬学、また外科医的な知識から歯周病に関わることまで全ての資格を取得しなければインプラント医になれないのです。外科医や内科医よりも資格取得に長い年月を必要とするのです。噛むということが脳と身体の健康にいかにか重要かということの海外の習慣と考え方の現われです。

日本の権威ある学会として「日本顎顔面インプラント学会(Japanese Academy of Maxillofacial Implants、略称:JAMI)」というものがあります。このJAMIとは、デンタルインプラントを中心とした学問を取り扱う専門学術団体の一つであり、日本歯科医学会の認定分科会なのです。

JAMIでは、定期的に学術大会やシンポジウム、情報交換などを行うことで常に最先端歯科医療の情報を共有し、歯科医療の抱えている問題を解決、改善することと共にインプラント医療の発展と向上を図っています。